

令和4年度 家庭科「家庭総合」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 1～6組
教科書	「家庭総合」 －自立・共生・創造－ (東京書籍)	副教材等	家庭科55資料集 (教育図書)

1 学習の到達目標

人の一生をテーマとして自分のこれからの人生を想像して課題を見つけ、高校生としての今の生き方について考えさせる。次世代を育む消費者としての自立について学習します。

被服製作を通じて、被服機能や被服素材の性質や種類を選択する能力を身につけることを目標とします。

生まれてくる命に対する責任について考え、出生までの胎児の発育と青年期の健康管理について学習します。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
一 学 期	4	第1章 自分らしい人生をつくる	1 青年期の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介シートを作成し、発表する。 ・自己概念を高めよう 自分自身を4つの面から考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出物 ・ワークシート分析 	
	5		2 家族・家庭を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の家族の特徴を理解し、自己の家庭像を描く。 ・家族が抱える問題とその背景について考える ・家族に関する法律について考える 		
	6		3 これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスについて考える 		
	7	第5章 経済生活を主体的につくる	<ul style="list-style-type: none"> 1 消費者の権利と責任 2 現代の消費社会 3 これからの高齢社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題と消費者の権利 ・契約と契約トラブル ・多様化する支払い方法 ・生涯の経済計画とリスク管理 		<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出物 ・ワークシート分析
二 学 期	9	第7章 衣生活をつくる	1 被服をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活に必要な基礎縫いの技術を身につける。(基礎縫い 巾着袋製作) 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服実習 期末考査 	
	10		2 被服を入手する	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能と着装 ・被服材料の性能 		<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出物 ・ワークシート分析 ・被服実習
	11		1 被服をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 「エプロンの製作」 ・被服製作に必要な用具や材料について理解し、安全に留意しながら使用する。 ・巾着袋の製作(ミシンの扱い方を復習) ・エプロンの裁断・縫製・仕上げを行う。(エプロンに刺しゅう等を行い、オリジナルの刺しゅう等の装飾を施す。) 		<ul style="list-style-type: none"> 仕上げ・自己評価 ・作品提出
	12			<ul style="list-style-type: none"> ・被服管理と計画 		<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出物 ・ワークシート分析 作品評価

三 学 期	1	第2章 子どもと共に 育つ	1 子どもの育つ力を 知る	・乳幼児の心身の発達を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・行動視察 ・提出物 ・ワークシート分析
			2 親として共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の遊びと生活遊びの意義 ・生活習慣の形成 親、家族、家庭生活の役割 ・乳幼児の食事、衣服 健康的な生活、安全な生活 	
			3 これからの保育環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境に問題 ・保育環境の特徴と役割 子育て支援の環境 地域、社会の役割 ・児童福祉の理念 福祉の基本理念へ 	学年末考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上を目指して自ら調べ、考え、主体的に取り組む態度を身につけている。
思考・判断・表現	自分と家族・家庭や地域社会の生活に関する課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫して表現する能力を身につけている。
技能	自分と家族・家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的技術を身につけている。
知識・理解	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。家族・家庭や地域社会の役割を理解している。

4 評価の方法

関心・意欲・態度，思考・判断・表現，技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項等）

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項や課題の内容を暗記するだけでなく、生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していく姿勢が大切です。 ・講義・実習・実験・疑似体験・グループ学習などの学習形態の中で、より深い理解ができるよう、積極的に参加し、互いの人格や意見を尊重する姿勢を持って臨みましょう。 ・教材の準備や授業場所についての連絡をよく聞くようにして下さい。また、欠席をした場合は次の授業までに内容を確認しておきましょう。 ・提出物（被服製作作品を含む）は必ず期限までに提出しましょう。
--